

土木遺産保存活用シンポジウム開催！

土木・環境しなの技術支援センターでは、長野県立歴史館の共催をえて、「土木遺産保存活用シンポジウム～土木遺産を地域資産に」を開催しました。（平成26年1月17日 於：長野県千曲市 県立歴史館）

シンポジウムには国交省、県建設部、市町村、民間企業、地域の方など約200名の参加があり、

・基調講演では、佐々木 葉先生（早稲田大学教授）から「土木遺産の活用とまちづくり - りんどう橋と霞橋の事例から」と題して 上田市りんどう橋と横浜市の霞橋の活用事例が紹介されました。

- ・事例発表では (1)土木遺産コンクリートローゼ桁橋の補修概要 県建設部道路管理課 折井 克壽さん
- (2)登録有形文化財釜ヶ淵砂防堰堤の補修 国交省松本砂防事務所 柳川 磨彦さん
- (3)坂戸橋の登録有形文化財登録と周辺整備 中川村建設水道課 米山 正克さん
- (4)防災遺産牛伏川の魅力を伝える活動 支援センター 理事 山浦 直人 さん

4つの事例の発表があり、佐々木葉先生、城ヶ崎正人松本砂防所長、設楽隆久長野国道副所長、福島正樹県立歴史館課長から助言コメントを頂き、小西純一理事長が進行とまとめをしました。

開催にあたり、ご協力を頂いた各機関、団体の皆様、参加された皆様有り難うございました。



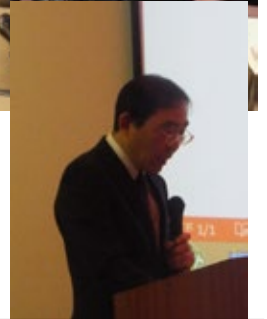
基調講演する佐々木葉
早稲田大学教授



開会挨拶する古本剛
理事長(長野高専教授)



事例発表にコメントする
松本砂防 城ヶ崎所長



事例発表する折井さん（県道路管理課）柳川さん（国交省松本砂防） 米山さん（中川村）



会場ロビーでの 中部の土木遺産などのパネル展示



新聞連載中の伊那谷
遺産を描いた原画が
展示された伊那谷遺
産パネル展示
（国交省天竜川上流
河川事務所提供）



シンポジウムの詳細は、報告書にまとめる予定です。